

アジアボディビル選手権 来月、北九州市で開催

国内26年ぶり

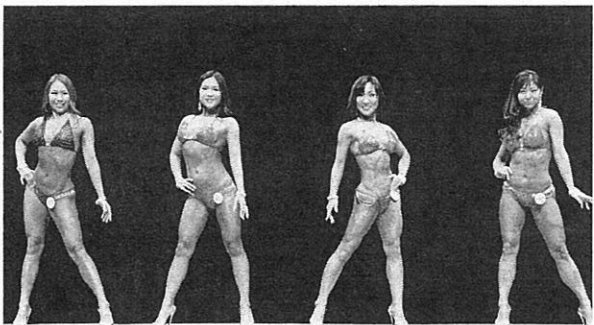
アジア35カ国・地域からボディビルディングの選手3000人が集まり、筋肉美を競う「アジア選手権大会」（北九州市など共催）が6月5〜7日に西日本総合展示場新館（北九州市小倉北区）で開かれる。アジア大会の国内開催は平成元年10月の鳥取大会以来26年ぶり、2回目となる。

大会はボディビル競技の普及を目指して毎年開催されている。体全体の中で

事も務めた俳優、アーノルド・シュワルツェネッガー氏も元ボディビルターとして知られる。福岡県ボディビル連盟会長で、学校法人「国際学園」の水嶋章陽理事長は「北九州開催を契機に、日

常的に体を鍛える魅力や、鍛えた体を人前で堂々と披露する競技文化を発信したい」と語った。
S席6千円、A席5千円、B席4千円。会場では、健康機器などを体験できる「ZERO100プロジェクトヘルシー&ビューティフェア」も開かれる。こちらは入場無料。問い合わせは、国際学園が運営する「九州医療スポーツ専門学校」内の実行委員事務局（☎093・383・7426）。

ボディビル業界が競技人口の裾野を広げようと、ソフト路線を取り入れている。日本ボディビル&フィットネス連盟（玉利齊会長、JBBF）は、ほどよく丸みを帯びた筋肉を競う「メンズフィジーク」や女性の「フィットネスビキニ」などを新たに導入し、専門雑誌もできた。新競技は北九州市で6月にあるアジア選手権大会でも競技種目に採用された。
(奥原慎平)



①メンズフィジークの競技者。ほどよく脂肪がついた身体は一般受けしそつ。②健康美を感じさせるフィットネスビキニの競技者（体育とスポーツ出版社提供）

れ、2012年に国際ボディビル&フィットネス連盟（IFBB）が競技種目に採用したという。日本のJBBFも昨年8月、「第1回日本メンズフィジーク選手権大会」を大阪で開催し、全国から80人が参加した。
福岡県ボディビル連盟会長の水嶋章陽氏は「年齢を問わないトレーニングは健康維持に役立ち、ひいては国の医療費削減にもつながる。ボディビルが一部のマニアのみの競技から脱却することは、その一助となります」と、メンズフィジークの普及に期待を込める。
三島由紀夫にボディビルを教えた経験もあるJBBF会長の玉利氏は「海外

競技人口増狙い「ムキムキ」から

ソフトマッチョ 普及へ

俳優のケイン・コスギ氏ら有名人も登場する一見ファッション誌のようなボディビルの雑誌が、昨年5月に創刊された。「メンズフィジーク」の専門誌「PHYSIQUE MAGAZINE（フィジークマガジン）」だ。最新刊の第5号では発行部数が3割増えたという。

通常のボディビルは運動だけでなく、食事や睡眠など生活習慣も工夫し、筋肉を大きくする。ただ、「ムキムキ」と表現される肥大化した筋肉と、独特のポーズが敬遠されることも少なくなかった。

実際、JBBFの登録選手

数も平成16年の1615人から、26年も2021人だった。国内のフィットネスクラブ会員数390万人

(22年、経済産業省調べ)に比べると、ボディビル人口が広がり欠けること

そこでJBBFは、髪形

や表情も審査されるなど、一般受けしやすいメンズフィジークやフィットネスビキニに目をつけた。

肉の過度の発達や脂肪の絞

「ソフトマッチョ」に近い

体形だ。審査の際にはハイフパンツ姿で、リラックスしたままポーズを取る。

女性種目の「フィットネスビキニ」もバランスのとれたプロポーション、肌の色つやなどを審査する。ともに米国発祥といわ

で太刀打ちするためには、

インテリジェンス(知性・教養)だけではだめ。三島氏のようなインテリもボディビルで体を鍛えた。メンズフィジークが入り口となつて、体を鍛え、自信をもつ人が増えればうれしい」と語った。

九州医療スポーツ専門学校 来年4月リニューアル移転



国際学園理事長・水嶋章陽氏

「カッコイイ体作ろうぜ」

柔道整復師などを養成する九州医療スポーツ専門学校(北九州市小倉北区)が、同市中心部の大手準備校、代々木ゼミナール小倉校の校舎・建物を購入し、来年4月に移転する。運営母体の「国際学園」は今年6、7日に市内で開かれるボディービルのアジア選手権大会にも携わる。水嶋章陽理事長(54)は「老若男女の健康づくりを通して、社会貢献したい」と志を語った。(奥原慎平)

代ゼミ小倉校を購入したのは、街の中心地が空白のままでは、にぎわいが薄れていく心配があったからです。現在、小倉北区内の2カ所にある校舎を統合移転する予定です。九州医療スポーツ専門学校に通う1千人の若者を呼び込めば、地域の活性化につながるでしょう。

私たちは今、0歳児から100歳のお年寄りまで、健康づくりに向けてのトレーニングを推進する「ZERRO-100プロジェクト」を提唱しています。トレーニングを通じた健康の維持が達成できれば、医療費削減にもつながるでしょう。

勝利が目的の競技スポーツと異なり、生涯スポーツは「継続」が大事です。その双方を指導できるスポーツトレーナーの需要は高まっています。

九州医療スポーツ専門学校は、こつしたトレーナーを養成しており、卒業生は、さまざまな一流アスリートを指導しています。

例えば、大相撲・白鵬関が所属する宮城野部屋とは、トレーナー派遣の契約を結びました。トレーナーだけでなく、腕や足の可動域を広げるトレーニング機器も提供しています。私も独自開発したストレッチ専用のマシンですが、性能がよく、評判も上々です。

女性らしさ、運動選手らしさを強調した「フィットネスビキニ」、「メンズフイジック」という競技も採用しています。従来のボディービルに比べて、一般受けもしやすいでしょう。

競技の裾野が広がれば、トップ選手のレベルアップだけでなく、国民の健康づくりにも貢献できると思います。この大会をきっかけに、「カッコイイ体作ろうぜ」という機運が出てくればうれしいですね。

私はずっと、一介の柔道整復師です。

昭和62年、小倉南区に「湯川整骨院」を開業しました。それから約30年。国際学園グループは、従業員400人規模に成長しましたが、数々の人との出会いに支えられて今があります。

その一人が、日本ボディービル&フィットネス連盟会長を務める玉利齊氏です。作家の三島由紀夫にボディービルを指導した人物です。

私は当時、仕事が終わると健康維持のため、ボディービルのジムに通っていました。そのジムを介して、玉利氏と出会ったのです。何故か意気投合し、何かにつけて私に目をかけてくれました。その縁で、私も現在、福岡県ボディービル・フィットネス連盟の会長職も務めています。

プ選手が、大日本除虫菊の殺虫剤キンチョールのCMに出演しています。

6、7日にボディービルのアジア選手権大会が北九州市の西日本総合展示場新館で開かれます。2年ほど前に、玉利氏から「アジア大会を国内で開催してみるか」と持ちかけられたのがきっかけで、私の地元北九州を会場に選びました。副実行委員長も引き受け、1400人ほどの来場者を見込んでいます。

アジア各国からボディビルダーが参加した選手権大会＝6日午前、北九州市小倉北区



世界から200人、筋肉美を披露 ボディービルアジア大会、北九州で開幕

カザフスタンやシンガポールなど21カ国・地域から200人の選手が集まり、筋肉美を競うボディービルアジア選手権大会（アジアボディビル&フィットネス連盟主催）が6日、西日本総合展示場新館（北九州市小倉北区）で始まった。7日まで。

大会は競技の普及を目的に毎年開かれている。国内での開催は平成元年の鳥取大会以来26年ぶり。

6日の予選では男女計6種目が身長・体重別に行われた。各国のビルダーたちが、筋肉を際立たせたポーズを取るたびに会場から歓声がわいた。

今大会では米国で流行している健康美や運動選手らしい肉体を追求する「ビキニフィットネス」や「メンズフィジーク」種目も採用された。

日本ボディビル連盟専務理事の中尾尚志氏は「いわゆるボディービルは専門化し過ぎてしまった。一般人から『カッコイイ』と思われやすいフィジークなどで競技人口を広げたい」と語った。

決勝は7日午前10時～午後7時に開かれる。